

わが職場

私が、坂出支店に新入社員として配属されたのは、昭和63年4月でした。当時は、瀬戸大橋の開通の年でもありとても忙しい時期だったと記憶しています。今の業務と比べてみると主要な荷主様、主要な業務が変わってしまっているのに時代の流れを感じます。しかし、安全作業があつての支店であることに変わりはありません。弊社では、毎月従業員一人一枚以上【ヒヤリハット報告書】を提出するようになっていきます。毎朝の通勤途上から帰宅するまでの中で、各自が危険を感じた事例について報告し、どうすれば、危険を防げたか、リスクを軽減できたかを検討します。道路・港湾施設をお借りして業務していることを念頭に、交通事故・労働災害を一件も発生させないよう従業員一同精進しております。

昭和62年に坂出駅前から事業拠点を現在の坂出港中央埠頭に移して28年余りが

経ちました。主な業務内容は、通運・トラック輸送・フォワーダー・国際業務・通関業務・倉庫事業・荷役業務・引越し・移転事業を行っております。従業員数は自動車課38人、海運課26人、鋼材課17人となっております。自動車課の主な業務は、工場内作業、引越し・移転作業、トラック輸送、石油輸送で、どの作業もコンタミ・テレコに注意しながらの安全作業が必要になります。海運課は、国際物流の中西讃の拠点窓口と位置づけ、日本をはじめ米州・欧州、更なる発展が見込まれる東アジア・南アジア・オセアニアの5極体制への窓口になっていきます。陸海空、多彩な輸送モードを駆使し、国や地域といった境界線を越えて人や企業を結ぶ物流のコンサルタントとして、ワンストップのビジネスソリューションを提供しています。港湾荷役においては、輸入米麦・自動車専用船から商品車の水切り作業を主に行っています。

船倉内での酸欠・高所昇降、吊り荷の落下、綱取り放時はさまざま重大事故に注

意しながら安全作業を行っております。鋼材営業課においては、文字通り船舶から鋼材を積みおろす荷役を行っております。マグネット式、専用ハッカーを用いたの慎重な作業が続く現場です。相手が鉄板でちよつとした不意な接触でも切れてしまうため油断はまったく出来ません。多種多様な品物・荷姿、まったく異なる作業場、状況の変化する現場での臨機応変な対応が求められます。職場全体会議でのミーティングで、安全作業手順書を定期的に見直しながら危険箇所・行為の撲滅を常に行うようにしています。

今後も、安全に対して問題意識を強く持ち、危険感受性を高め、労使一体となって労働災害防止ならびに快適職場の促進を推し進めて、心身ともに健康で安全・安心に働くことのできる職場づくりを目指してまいります。

日本通運株式会社

坂出支店

支店長 公文 雅裕